

# 社福 のだ

Nodacity Council Of SocialWelfare

ホームページ <http://www.nodasyakyo.or.jp>

No. 115

平成29年11月 1日発行

編集・発行  
 社会福祉法人野田市社会福祉協議会  
 千葉県野田市鶴奉5番地の1  
 TEL 04-7124-3939  
 FAX 04-7124-8883

主な内容>> ②赤い羽根共同募金・歳末募金・会費納入のお願い ③寄席鑑賞会、地区社協紹介 ④ハートまつり  
 ⑤訪問入浴サービス事業終了 ⑥寄せられた善意・まちがいがまし

## ボランティア活動・4つの原則

ボランティア活動には、次の4つの原則があるとされています。

1.

自分から進んで行動する

自発性・自主性

2.

ともに支えあい、学びあう

公共性・連帯性

3.

見返りを求めない

無償性・無給性

4.

より良い社会をつくる

創造性・先駆性

このほか、定期的にボランティア通信の作成やSNS（ソーシャル・ネットワークキング・サービス）を活用し、情報の提供を行っています。

## ボランティアセンターとは



ボランティア活動に「関心がある!」「参加したい!」「手伝ってほしい!」人たちのための相談窓口として、さまざまな情報や活動を集めて、みなさまのボランティア活動を応援します。

なお、安心してボランティア活動を行うためにもボランティア保険の手続きをお願いします。



## 合言葉は「できることから」 野田市ボランティアセンター

締切迫る

### 金婚の思い出を記念写真に

金婚を迎えられた方を対象に、プロのカメラマンによる「金婚記念撮影会」を開催します。希望される方は、11月8日（水）までに社会福祉協議会に電話で申し込みください。

後日、社会福祉協議会より招待状を発送いたします。

【対象となる方】 昭和42年に婚姻されたご夫婦

【日時】 平成29年11月18日（土）

【場所】 総合福祉会館第一会議室

【問合せ】 野田市社会福祉協議会

☎7124-3939



1 相談・問合せ  
 2 内容確認  
 3 調整  
 4 調整結果の回答  
 5 調整結果に応じたボランティア活動の支援

1 相談・問合せ  
 2 内容確認  
 3 ボランティア要請カードの提出  
 4 調整  
 5 調整結果の回答  
 6 引受け時の詳細打合せのお願い

個人の方からの相談

施設・団体からの相談

## 個人や施設・団体からの相談の流れ



この広報紙は、赤い羽根共同募金の助成を受けて、発行しています。(再生紙使用)

# あなたの募金は、あなたの町へ 赤い羽根共同募金は、地域の福祉活動を支えています

戦後の荒廃が残る昭和22年に始まった赤い羽根共同募金は、みなさまに支えられ、今年71回目を迎えます。

「共同募金」は、集めてから使いみちを決めるのではなく、集める前に団体・施設などからの要望を受け付ける「計画募金」です。民間社会福祉の資金として、30%が県内の民間社会福祉施設整備等に、70%が野田市社会福祉協議会に配分され、地区社協活動や福祉団体の育成、ボランティア団体への支援など、地域の福祉活動を幅広く支えています。



また、大規模災害が発生した際の備えとして、募金の3%以内を「災害等準備金」として積み立てており、この積み立ては大規模災害が起こった際に、災害ボランティア活動支援など、被災地を応援するために使われています。

赤い羽根共同募金は、「じぶんの町を良くするしくみ」をテーマに、住民ボランティアや、高齢者・障がい者・子どもへの支援活動等、市民自らの行動を応援しています。  
みなさまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



# 12月からは 歳末たすけあい運動がはじまります

12月の1ヶ月間は、「つながりささえあうみんなの地域づくり」をスローガンに「歳末たすけあい運動」が展開されます。

この運動は、共同募金運動の一環として行われるもので、募金の全額が社会福祉協議会へ配分されます。新たな年を迎える時期に、援助や支援を必要な方が、安心して暮らすことができるよう、実施されるもので、「歳末見舞金」、特別養護老人ホーム入所者への「訪問美容サービス」及



募金

び、70歳以上の一人暮らしで要介護1以上の方を対象とした「エアコン・クリーニングサービス」の事業費として配分されます。市内各地で、街頭募金活動も行われますので、みなさまのご協力をお願いいたします。



心身ともにリフレッシュ！  
(訪問美容サービス)



対象要件を大幅に緩和  
(エアコン・クリーニングサービス)

社会福祉協議会は、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進するために、地域のみなさまやボランティア、福祉関係者等の協力を得ながら、共に考え実行していく民間の福祉団体です。

野田市社会福祉協議会では、地区社協を核とした地域での活動やボランティアの育成、支援など、様々な地域福祉事業を行っています。みなさまから寄せられる会費は、地域福祉活動を進める上で、貴重な財源となっております。また、会費の一部は、地区社協の活動費として還元されています。

## 〔還元方法〕

具体的な還元方法は、一般会費納入額のうち、市社協納入額300円を超えた額と特別会員納入額の40%を地区社協に還元します。

一般会費は、1世帯あたり500円以上(年額)、特別会費は1世帯千円以上です。みなさまのご理解ご協力をお願いいたします。



あなたの会費で  
地域福祉が支えられています  
（会費の一部は地区社協に還元し活動費へ）

# 豪華共演ふたたび

## 鈴々舎馬風と毒蝮三太夫来たる

野田市出身の落語家・鈴々舎馬風 師匠と馬風一門による「寄席鑑賞会」を開催します。

今年は、一昨年会場を笑いの渦に包み込み、好評を博した毒蝮三太夫さんと馬風師匠の夢の共演となります。

当日は、市民ふれあいハートまつりも同時開催されますので、ご家族そろってお越しください。

〔日時〕平成29年11月18日(土)

13時30分開演

〔場所〕文化会館大ホール



迫力満点の落語は必見です

### 入場無料



ラジオでもおなじみの「まむしさん」

### 不要な入れ歯をリサイクル

野田市社会福祉協議会では、不要になった入れ歯を回収しています。入れ歯や虫歯治療で削った歯の上部にかぶせる「クラウン」などには、金、銀、パラジウムといったレアメタル(希少金属)が使われており、これをリサイクルする活動です。

長く使ったものでも、価値ある資源として利用できます。

〔収集方法〕  
熱湯または洗浄剤で消毒し、ビニール袋に入れて野田市社会福祉協議会事務局または関宿出張所(やすらぎの郷)にある回収ボックスまでご持参ください。

〔使いみち〕  
業者に送り、換金したお金の一部が(財)日本ユニセフ協会と野田市社会福祉協議会に寄付され、地域福祉活動の資金として役立てられます。

※金属が使われていない入れ歯は回収の対象となりません。

臨時休館のお知らせ：11月27日(月)は、総合福祉会館害虫防除作業のため、社会福祉協議会事務局も臨時休業となります。

### みんなで支えあう社会

川間地区社会福祉協議会

会長 因田 隆

川間地区社会福祉協議会は、平成9年11月に地域ぐるみ福祉ネットワークとして発足し、平成12年4月に地区社協に移行し、5支部で活動しています。

誰もが安心して暮らせる地域、みんなで支え合う社会づくりに取り組んでいます。

特徴的な取り組みとしては、産業祭や市民ふれあいハートまつり等のイベントで、自主財源の確保と福島復興支援を兼ねて福島産のリング販売を行っています。

また、今年20回目を迎える「ふれあいの広場」では、小・中学生による金管・吹奏楽演奏を始め、地域の皆さんによる郷土芸能、舞踊、珍劇等広範にわたる演目が披露され、明るく

元気で楽しく！地域住民の和が広がります。

地域の「和」を大切に、今後も活動を展開していきたいと思いを



川間中生徒による「獅子起こし」(ふれあい広場)

### 斎場売店

「セレ・ショップやすらぎ」のご案内

野田市社会福祉協議会では、障がいのある方の社会参加促進と市民の利便性の確保を目的に、野田市斎場内で斎場売店「セレ・ショップやすらぎ」を運営しています。

現在は、6名の障がいのある方が就労に向けて、日々チャレンジをしており、お客様のご用命ひとつひとつが、障がいのある方一人ひとりの貴重な社会参加への支援となっておりますが、それでもご利用の件数は限られており、支援に必要な作業量を確保できないのが現状です。

また、精神障がいのある方に理解があり、運営の支援をいただける方を募集しています。

一人でも多くの市民のみなさまにご利用いただくことが福祉の輪を広げることにつながります。

ぜひ、「セレ・ショップやすらぎ」をご利用ください。



飲み物、軽食、お菓子、仏具を取り扱っています

11月18日は、家族みんなで中央公民館へ  
**市民ふれあいハートまつりを開催**

11月18日（土）に第16回市民ふれあいハートまつりが開催されます。

16回目を迎える本イベントは、ノーマライゼーションの理念を基本として、NPO法人・ボランティア団体・地区社会福祉協議会など、様々な市民活動団体が、活動紹介や発表、実演、体験などを行うものです。

中央公民館前の時計の広場では好評の模擬店も多数出店します。今年も中央公民館講堂にて、中央小学校による合唱や吹奏楽が披露されます。

文化会館ロビーでは、福祉のまちづくりフェスティバルも同時開催され、恒例のスタンプラリー（景品あり）も実施されます。



みんなで楽しむよさこいソーラン

**ポスター展の開催**

11月18日から20日午前11時までの3日間、中央公民館講堂で、市内小中学校の児童・生徒から寄せられたポスターの展示を行います。ぜひ、ご家族揃ってお越しください。



「みて、体験して、遊んで」体験型イベント  
**市民ふれあいハートまつり**

楽しい発見が盛りだくさん！ぜひご来場ください！

- 活動展示 ボランティアグループ等の活動紹介
- 実演・体験 クラフト、おもちゃ病院、昔あそび体験、要約筆記、手芸、バルーンアート等
- 発表 よさこいソーラン、健康予防体操、ハワイアンフラダンス、舞踊体操、ハーモニカ演奏、三味線演奏等
- 販売 焼きそば、蕎麦、りんご、とん汁、おにぎり、焼菓子、縫製製品、クッキー、雑貨等
- その他 中央小学校による合唱・吹奏楽の披露  
 ※当日、変更になる場合があります。

〔場 所〕  
 〔主 催〕  
 〔問合せ〕

総合福祉会館及び中央公民館  
 中央公民館前の時計の広場  
 市民ふれあいハート  
 まつり実行委員会  
 野田市社会福祉協議会  
 ☎ 7124-1393

**ボランティア情報**

あなたもLet'sボランティア

「私にもできそうだな」と思うものがあったらボランティアセンターまでご連絡ください。お待ちしております。

▲敬愛デイサービス（岩名）

- \*草取りや水やりなどの花壇の手入れ
- \*月2～3回程度
- \*曜日・時間は応相談

▲しらさぎの家（下三ヶ尾）

- ①見守り・お話し相手のボランティア  
 \*月～土曜日。時間帯は応相談
- ②書道ボランティア（道具は施設で用意）  
 \*曜日・時間帯は応相談

★秋のじょいんと

知的障がい者のみなさんと一緒に軽スポーツを楽しもう！

- 〔日 時〕 11月25日（土）13時15分～16時00分
- 〔場 所〕 勤労青少年ホーム体育室  
 ※動きやすい服装で上履き持参
- 〔内 容〕 体育館で軽スポーツやレクリエーション

「じょいんと」は「野田市手をつなぐ親の会」と共催で年に3回実施している知的障がい者とボランティアの集いです



記号説明 ▲高齢者施設 ★障がい者

問合せ 野田市ボランティアセンター ☎7124-3939

ファミリー・サポート・センター  
 提供会員募集

野田市ファミリー・サポート・センターは、子育てのお手伝いをして欲しい人（利用会員）としたい人（提供会員）、両方を兼ねる人（両方会員）との会員組織による地域の相互援助活動です。

野田市から委託を受け野田市社会福祉協議会が運営しています。安心して援助活動ができるよう、アドバイザーが、会員間の連絡調整や活動等のコーディネートを行っています。

ライフスタイルの変化により、ファミリー・サポート・センターに対するニーズは、ますます増えてくる事が予想されます。

次代を担う子どもたちを地域の力で支援する「ファミリー・サポート・センター」を支えていただける提供会員を募集しています。

支援内容の多くは、保育所、学童保育所、習い事の送迎や預かりといった、短時間の活動です。

できる時にできる範囲で子育ての応援をしていただける方（提供会員）、または両方会員として活躍してみませんか。



地域ぐるみで子育て支援

みなさまに支えられ29年間

# 訪問入浴サービス事業が終了

『在宅介護』という言葉もあまり聞かれなかった昭和63年。

野田市社会福祉協議会では、野田市の委託を受け、ねたきり高齢者の方への入浴サービス事業を開始しました。

平成12年に導入された介護保険制度において、介護保険サービスとして「訪問入浴介護」が位置づけられたことから、指定事業者として、サービスを提供してきました。

「安心、安全、清潔なサービス」をモットーに、ご利用者様の目線で、ご家族様に寄り添う充実したサービス提供に努めてきましたが、度重なる報酬改定や同業他社の参入などにより、事業運営は厳しい状況となっております。

「社福のだ」と振り返る



## 昭和63年7月 事業開始

当時は、ねたきり高齢者の方を対象に2か月に3回、市の福祉サービスとして提供していました。

老人等入浴サービス事業始まる



## 平成9年6月

入浴車2台体制に  
利用希望者の増加により、入浴車を2台体制に強化。(一部は業務委託)  
利用回数を月3回へ拡大。(市福祉サービス)

特に、介護に携わる人材の確保は、困難を極めており、最少の人員で運営をしてきましたが、十分なサービス提供体制が確保できないことから、平成29年8月末をもって、事業廃止とさせていただきます。



## 平成18年12月

### 24時間テレビより入浴車(軽)の寄贈を受ける

24時間テレビチャリティー委員会より、訪問入浴車(軽)「ほっとハート号」の寄贈を受け、サービス提供体制を拡充。



紙おむつ・パッド差し上げます

善意の寄付で寄せられた紙おむつ等を、必要な方やそのご家族に抽選で差し上げます。

「往復はがき」に①住所②氏名③電話番号④年齢⑤希望商品(おむつ又はパッド)を明記の上、ご応募ください。

厳正なる抽選のうえ、はがきで結果をお知らせします。必ず「往復はがき」にてご応募ください。サイズ、種類はご希望に添えない場合がございます。

### 〔応募できる方〕

市内在住で、社会福祉協議会事務所へ直接受け取りができる方

### 〔配布人数〕

おむつ5名・パッド8名

### 〔応募先〕

〒278-0003 野田市鶴奉5-1 野田市社会福祉協議会

### 〔応募締切〕

平成29年11月17日(金)



寄付の受け入れも受付(新品未開封に限ります)

## 貸出案内

### ▼福祉車両の貸出

〔対象〕高齢者・障がい者(児)及びその家族

〔利用料〕無料(燃料は自己負担)

〔貸出車両〕  
①「たんぼぼ号」(軽自動車)  
②「ゆうあい号」(ワンボックス車)

《定員》3名(車いす1台)  
《定員》5名(車いす2台)



運転手は利用される方で確保をお願いします

### ▼車いすの貸出

〔対象〕高齢者・障がい者及び一時的なけが等により必要な方

〔利用料〕無料(貸出期間中の故障は自己負担)

〔貸出期間〕原則1ヶ月(更新あり)



貸出状況はお問い合わせを

# まちがいさがし

右の2枚の絵の中には、8つの間違いがあります。間違いを見つけた方は、ハガキに①答え、②住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥「社福のだ」に関する感想をお書きのうえ、ご応募ください。(11月30日必着)

正解者の中から抽選で5名様に粗品をプレゼントします。なお、いただいた個人情報、粗品送付目的以外で使用することはありません。

【応募先】〒278-0003

野田市鶴奉5-1

野田市社会福祉協議会



素材提供：【幼児の学習素材館】<http://happyililac.net>  
イラスト©：わたなべ ぷみ

## 寄せられた善意

市民のみなさまから心のこもった温かい寄付が寄せられました。みなさまのご厚意に厚くお礼申し上げます。

### 【金品】

- 鍋谷利昭様 10,000円
- 小さな森の家野田清水様 11,000円
- 匿名様 6,000円

### 【物品】

- いきいきクラブ日の出様 手縫い雑巾70枚
- いきいきクラブ北部支部女性委員様 タオル446枚他67点
- 匿名様 おむつ476枚 パッド225枚 他7点

### 【福祉施設へ指定寄付】

- ㈱日本総合開発様 お菓子29,460円相当
- ジユピター関宿店様 お菓子21,840円相当 (平成29年10月6日現在)

## 災害義援金にご協力を

共同募金会では、以下の義援金を受け付けています。義援金は、社会福祉協議会窓口のほか、振込でも可能です。詳しくは、中央共同募金会ホームページ (<http://www.akaihane.or.jp>) で。

### 【受付中の義援金】(平成29年10月6日現在)

- 平成28年熊本地震災害義援金
- 平成29年7月5日からの大雨災害義援金
- 大分県豪雨災害義援金 ●台風18号大分県災害義援金

## 1人で悩まずに、心配ごと相談へ

家族や生活のこと、仕事や学校のこと、どこに相談すればよいか分からない悩みや不安をお持ちの方、気軽にご相談ください。

経験豊富な民生委員が相談に応じます。

【日時】毎週火曜日・第1金曜日  
13時～16時

【場所】総合福祉会館相談室

【連絡先】野田市社会福祉協議会

☎7124-3939



## 職員募集

以下の職種の臨時職員を募集しています。

### ①学童保育所代替指導員

【条件】児童福祉に理解と熱意がある方。

【就業場所、時間】市内15学童保育所いずれか。

平日：13時から19時の間、学校休業日：8時から19時の間

【時給】1,090円

### ②同行援護事業ガイドヘルパー

【勤務内容】視覚障がい者の外出支援

【応募資格】同行援護従業者養成研修一般課程修了者

【時給】1,150円

### ＜応募方法・全職種共通＞

【雇用期間】平成30年3月31日まで

(年度毎の契約更新の可能性あり)

【応募方法】履歴書(3ヶ月以内の写真添付)を社会福祉協議会に提出。

【問合せ・応募先】〒278-0003 野田市鶴奉5-1  
野田市社会福祉協議会 ☎7124-3939

## SNSでタイムリーな情報を発信

スマートフォンの普及により、Twitter、Facebook

といったSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)が急速に広がりを見せています。

SNSは、タイムリーな情報を迅速に伝えられ、災害時などに特に効力を発揮することから、社会福祉協議会でも、SNSを開発しています。

ぜひ、ご覧ください。

野田市社協 検索

【ホームページ】

<http://www.nodasyakyo.or.jp>

【Twitter】

@nodasyakyo

【Facebook】

<https://www.facebook.com/nodasyakyo>

